

令和6年度公の施設目標管理型評価書【指定管理者施設用】

施 設 名	新潟市総合福祉会館			
管 理 者 名	株式会社ヴァーテックス	指定期間	令和6年4月1日	～ 令和11年3月31日
担 当 課	福祉部福祉総務課			
所 在 地	新潟市中央区八千代1丁目3番1号			
根 拠 法 令				
設 置 条 例	新潟市総合福祉会館条例			
施 設 概 要	建物規模 鉄骨鉄筋コンクリート造、地上5階 敷地面積 6,700㎡ 延床面積 10,087.42㎡ 施設内容 ・図書コーナー、福祉総合相談センター、会議室、大集会室、多目的ホール、視聴覚室、作業室、調理実習室、技能習得室、ブレイルーム、障がい者福祉センター、老人福祉センター、機能回復訓練室等			

施 設 設 置 目 的
・ 障がい者や高齢者をはじめ市民が福祉活動に積極的に参加することのできる拠点施設として設置する。
管 理 ・ 運 営 に 関 す る 基 本 理 念 ， 方 針 等
管理運営の基本的事項 1. 新潟市総合福祉会館条例に基づき、市民の積極的な福祉活動への参加に寄与するための施設の提供 2. 公の施設管理運営の責務を認識して管理運営を行うとともに、住民サービスの向上や平等の利用が確保されること 3. 利用者や市民などの意見要望は管理運営に反映させること 4. 利用者に対し、安全及び快適な環境を提供すること 5. 新潟市個人情報保護条例に基づき、個人情報の保護を徹底するとともに、業務上知りえた情報について守秘義務を遵守すること 6. 効率的かつ効果的な管理運営を行い経費節減に努めること 7. 法令を遵守し施設管理を適切に行うこと

視 点	評価項目	評価指標	実績	評価 ※	評価コメント ※
市 民	貸室全体稼働率	年間50%以上	年間59.3%	B	目標を上回っている
	サービス満足度	必要に応じアンケートや利用団体懇談会等を実施し、サービス実態を把握すること	ご意見箱を常時設置することにより、サービス満足度の向上に努めた。	B	意見箱を設置することで、利用者の声を現場で聴取出来ている
	要望対応の適切性	意見箱の意見についての回答は迅速に公表し、実現を図ること	意見者が公開可としているものについて、全ての回答を利用者が閲覧できるようにしている。あわせて、利用登録団体からの要望・報告には、都度適切に対応している。	B	意見箱への要望・報告のすべての回答を公表している
	広報の充実	ホームページ等で常時最新の情報を掲載し、適切な情報発信を行うこと	老人福祉センター・障がい者福祉センターの事業内容、各種講座の募集告知、最新情報等をホームページに掲載した。	B	常時最新の情報を発信するよう努めている
財 務	管理運営経費の節減	入れ、見積合わせなど管理的経費縮減に努力すること	修繕や物品購入に際し、複数の業者から見積書を取り寄せるなどして、経費縮減に努めた。	B	経費削減に努めている
業 務	安心安全の確保	責任者を配置すること、災害時等に際して責任体制、マニュアルの設置、年2回定期訓練の実施、事故後の再発防止対策の実施	会館利用者也参加した消防避難訓練を年2回実施、職員による水防訓練を年1回実施し、緊急時の対応力強化のため、責任体制や作業・役割分担を再確認した。	B	利用者也参加した避難訓練を行い、常に安心安全を心掛けている
	施設機能の維持	各業務仕様に基づく法令点検、定期点検の実施	有資格者による定期点検を実施している。	B	各種点検が行われている
	当該施設の管理に関する関係法令の遵守	研修会やマニュアルの整備を行う	遵守に努めている	B	法令に基づいて管理が来ている
	事故防止の取り組み	指定管理者の責めに帰す事故発生件数0件	定期的な保守点検と異常時の早急な対応により、事故発生件数0件	B	目標を達成している
	業務仕様書に定める事項の遵守	その他業務仕様書に定める事項の遵守	その他業務仕様書等に定める事項の遵守	B	仕様書に基づいた事務を行っている
人 材	配置人員条件の遵守	防火管理者1名以上、各管理業務に携わる有資格者の配置	防火管理者1名を配置。設備管理（ボイラー等）の有資格者をそれぞれ1名ずつ配置	B	法令等の基準を満たしている

【評価基準】

A:要求水準(評価指標)を達成し、かつその達成度・内容が優れている

B:要求水準(評価指標)が達成されている

C:要求水準(評価指標)が達成されていない

※評価について、「A」を付ける場合は「優れている点」を、「C」を付ける場合は「達成されていない点」を、「評価コメント」欄に明記してください。(評価指標が達成されているだけなら「B評価」で、その達成度や内容が優れていなければ「A評価」とはなりませんので、ご注意ください。)

指定管理者記載欄(アピールしたい事項・未達成項目への改善策等)

○ 令和6年度は、株式会社ヴァーテックスが指定管理者として運営を開始した初年度であり、法令遵守と事故防止を徹底し、利用者が安心・安全に過ごせる施設運営に努めました。消防避難訓練・水防訓練の実施や責任体制の整備を通じて、緊急時対応力の強化を図るとともに、空調や給湯設備の不具合には迅速に対応し、施設機能の維持に取り組みました。

○ 利用者サービスの向上に向けては、ご意見箱を常設し、寄せられたご意見には速やかに回答・公開する体制を整備しています。あわせて、窓口での対話や日常的なやり取りの中で、利用者の声を把握し、業務改善に反映するよう努めました。今後は、アンケートの実施など、満足度の「見える化」にも取り組んでいきます。

○ エネルギーコストについては、電力契約を他の供給業者に切り替え、年間を通じて電気料金の削減を図りました。あわせて、光熱水費の使用量を定期的に集計・可視化し、職員間で共有することで、省エネ意識の向上と更なるコスト抑制を推進しています。

○ また、館内テナントとの連携を強化し、災害時対応や情報共有の体制づくりを進めました。施設全体で一体的な運営を意識し、安全・安心な環境づくりを今後も継続してまいります。

所 管 課 に よ る 総 合 評 価 (所 見)

指定管理業務において、運営開始初年度であり、市と指定管理者の間で適宜十分な打ち合わせを行い、業務を遂行し、要求水準を達成している。利用者の声を把握し、館内テナントとも連携を図りながら、市民が福祉活動に参加できる拠点として、総合福祉会館の管理・運営を行っている。電気料金の削減などコスト抑制に積極的に取り組んでいる点も評価できる。